# 事業名：みえアウトドア・ヤングサポーター育成事業（継続）

担当課：農山漁村づくり課

## １　事業の目的

リモートワークやオンライン教育が普及し、住んでいる場所の制約からの解放が進む中、若年の社会人や大学生等が、生まれた空き時間を利用して、気軽に、三重県の農山漁村地域を訪れ、自然体験から学んだり、働いたりするとともに、地域で暮らす人々との連携が深化し、季節行事や催事、発災時の復旧支援に参加するなど、より長期の滞在、関係人口の増加、ひいては地域活性化につながるよう、産学官が連携して、機会創出・仕組みづくりに取り組みます。

## ２　事業の必要性

令和３、４年度は、若者等が実際に農山漁村地域を訪れ、アクティビティ体験や、体験活動補助の試行ができる「スタートアップ・セミナー」を開催するとともに、アウトドアを実践する上での安全管理・危機管理能力、災害時にも使える救援・復旧力の向上を図る「レベルアップ・セミナー」を開催し、８３名（R3:53 名、R4:30 名（予定））のサポーターとして認定してきました。

今後は、認定したサポーターが、農山漁村地域で自然体験を生業とするガイドの補助業務を行うなど実践の場で活躍できるよう、さらなる技術力の向上やガイディング力を身に付けていく必要があります。

また、県としても地域資源を活用した人づくりを推進していくため、サポーターが自律的かつ継続して取組を進められるよう支援する必要があります。

## ３　事業の内容

（１）サポーター実践力向上支援事業

実際にガイドをしている現場などに同行しながら技術を学ぶとともに、ガイドに必要なホスピタリティや、ガイディング能力などを習得し、実践の場で活躍できるサポーターを育成します。

また、サポーター自らが農山漁村地域で活躍できるよう、サポーター同士が連携した自発的な取組や、アウトドアに必要な資格取得を支援します。

（２）サポーターズクラブ HP 改修事業

令和４年度に制作した「みえアウトドア・ヤングサポーターズクラブ」（育成したサポーターで構成する組織）のＨＰを一部改修し、サポーター自身がＨＰを活用できるようにします。

今後は新たなサポーターの募集をはじめ地域での活動のコーディネートや受入施設とのマッチング、活動実績の情報発信などを自ら行うことで、自律的かつ継続的なサポーター活動につなげます。

## ４　事業実施期間

令和３年４月　～　令和６年３月

## ５　事業費

事業費　４，１３６千円（国：２,００１千円　県：２，１３５千円）

（内訳）

（１）サポーター実践力向上支援事業

３，８０２千円（国：１，９０１千円　県：２，０３５千円）

（２）サポーターズクラブ HP 改修事業

２００千円（国：１００千円　県：１００千円）